

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学
令和4年度 業務実績評価書

令和5年9月

神奈川県公立大学法人
神奈川県立保健福祉大学評価委員会

目次

1	年度評価の基本方針	1
(1)	基本方針	1
(2)	評価区分	1
2	全体評価	2
3	大項目評価	4
(1)	大項目1「教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する評価	4
(2)	大項目2「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する評価	5
(3)	大項目3「財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する評価	5
(4)	大項目4「その他業務運営に関する重要な目標を達成するための措置」に関する評価	6
(5)	大項目5「自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する評価	6
4	評価委員会の概要	7
(1)	令和5年度神奈川県公立大学法人神奈川県立保健福祉大学評価委員会委員	7
(2)	評価委員会実施状況	7

神奈川県公立大学法人神奈川県立保健福祉大学評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、地方独立行政法人法第78条の2に基づき、次のとおり公立大学法人神奈川県立保健福祉大学（以下「保健福祉大学」という。）の令和4年度の業務実績に関する評価を実施した。

1 年度評価の基本方針

業務実績に関する評価は、「公立大学法人神奈川県立保健福祉大学の各事業年度の業務の実績に関する評価の実施基準」（平成30年9月20日決定）に基づき、次のとおり行う。

(1) 基本方針

- ア 中期目標の達成に向けて、法人の中期計画の事業の進捗状況を評定する。
- イ 県民への説明責任の観点から、評価を通じて、中期目標の達成状況や業務の実施状況を分かりやすく示す。
- ウ 法人の組織・業務運営等に関して改善すべき点を明らかにすることにより、法人運営の質的向上に資する。

(2) 評価区分

年度評価に当たっては、法人から提出された業務実績報告書等を基に、法人からのヒアリングを実施するなど調査・分析のうえ、業務の実績の全体について検証を行う。業務実績の検証は、年度計画に記載されている各項目の事業の進捗状況及び成果等について、できる限り客観的なデータにより適正に行う。

ア 項目別評価（小項目評価）

評価委員会は、項目（小項目）ごとに、法人の自己評価及び年度計画の目標設定の妥当性などを総合的に検証し、法人の自己評価と同じ5段階の区分により評価する。評価委員会による評価と法人の自己評価が異なる場合は、評価委員会が評価の判断理由等を示すとともに、必要に応じて、特筆すべき点や改善すべき点等があればコメントを付す。

イ 項目別評価（大項目評価）

評価委員会は、項目（大項目）ごとに、業務実績報告書及び小項目評価の結果を基に、業務実績の検証を踏まえ総合的に判断し、以下の5段階の区分により評価する。

- S：中期計画の達成に向けて特筆すべき優れた進捗状況にある。
- A：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- B：中期計画の達成に向けて概ね順調な進捗状況にある。
- C：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- D：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

ウ 全体評価

評価委員会は、全体評価について、業務実績の検証や項目別評価の結果を踏まえ、法人の中期計画の進捗状況全体について総合的に判断し、記述式で評価をする。また、必要があるときは、法人に対して業務運営の改善その他の勧告をすることができる。

2 全体評価

令和4年度は、全体として中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

(項目別評価の結果)

(1) 大項目1「教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」

小項目28項目中3項目で年度計画を大幅に上回る実績・成果を上げているほか、25項目で年度計画に記載された事項がほぼ100%計画どおり実施されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、A評価が妥当であると判断した。

(2) 大項目2「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」

小項目3項目中3項目で年度計画に記載された事項がほぼ100%計画どおり実施されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、A評価が妥当であると判断した。

(3) 大項目3「財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」

小項目3項目中3項目で年度計画に記載された事項がほぼ100%計画どおり実施されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、A評価が妥当であると判断した。

(4) 大項目4「その他業務運営に関する重要な目標を達成するための措置」

小項目4項目中4項目で年度計画に記載された事項がほぼ100%計画どおり実施されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、A評価が妥当であると判断した。

(5) 大項目5「自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置」

小項目2項目中2項目で年度計画に記載された事項がほぼ100%計画どおり実施されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、A評価が妥当であると判断した。

全体評価	項目別評価				
	大項目	評価	小項目(評価基準)	項目数	
中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。	1	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	A 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。	S(年度計画を大幅に上回る)	3
				A(ほぼ100%実施)	25
				B(80%程度以上)	0
				C(60~80%未満)	0
				D(60%未満)	0
				項目数 計	28
	2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	A 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。	S(年度計画を大幅に上回る)	0
				A(ほぼ100%実施)	3
				B(80%程度以上)	0
				C(60~80%未満)	0
				D(60%未満)	0
				項目数 計	3
	3	財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	A 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。	S(年度計画を大幅に上回る)	0
				A(ほぼ100%実施)	3
				B(80%程度以上)	0
				C(60~80%未満)	0
				D(60%未満)	0
				項目数 計	3
	4	その他業務運営に関する重要な目標を達成するための措置	A 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。	S(年度計画を大幅に上回る)	0
				A(ほぼ100%実施)	4
B(80%程度以上)				0	
C(60~80%未満)				0	
D(60%未満)				0	
項目数 計				4	
5	自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置	A 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。	S(年度計画を大幅に上回る)	0	
			A(ほぼ100%実施)	2	
			B(80%程度以上)	0	
			C(60~80%未満)	0	
			D(60%未満)	0	
			項目数 計	2	

(業務実績の状況)

第一期中期計画の5年目である令和4年度も、令和3年度に引き続き感染対策を講じながら授業を実施するなどの対応を迫られたが、教育の質を保証するため教職員が一丸となって取り組むことで、保健、医療及び福祉の分野に関する総合的な能力を有する人材を育成した。

イノベーション政策研究センターでは、県をはじめとした多様な関係機関との連携により、下水疫学調査による新型コロナウイルスの感染状況の把握・変異株の分析・感染予測などへの応用といった革新的な研究プロジェクトを実施することにより、シンクタンクと

して県の政策に大いに貢献した。

また、ヒューマンサービス公開講座の開催により大学の有する知的資源を積極的に地域に還元することや、県内高校のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業に参加し、大学教員が直接、高校生に指導することで探究的な学びの実践を支援することなどを通じて、多方面にわたる地域貢献活動を実施した。

開学 20 周年という節目を迎え、大学創立の原点に立ち返り、保健・医療・福祉に係るヒューマンサービスの実践に取り組み、保健医療福祉の総合大学として教育、研究及び地域貢献に励むことにより、3 キャンパスの強みを積極的に生かした法人運営をしている。

3 大項目評価

(1) 大項目 1 「教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する評価

(業務実績の状況)

教育面に関して、就職希望者就職率(学部)は、99.5%であり、令和3年度に引き続き、高い水準を維持している。また、就職者の約65%が神奈川県内に就職しており、県立の大学としての使命を果たしている。国家試験合格率が、社会福祉士、作業療法士を除く全ての資格で目標値に対して100%を達成したことは高く評価できる。

令和4年度の学部授業については、密にならないよう十分なソーシャルディスタンスを確保できるよう、複数教室での実施や、受講人数を制限するなどの工夫をすることで、新型コロナウイルス感染状況に配慮しながら原則対面で実施した。学外実習の中止が生じて代替した学内実習において目標を達成できるよう、オンライン等を活用した様々な教授法が行うことで、教育の質を最大限確保できるよう努力していると認められる。今後もオンライン授業と対面授業をうまく活用し、さらなる教育の質の向上を目指してほしい。

また、アントレプレナーの育成、イノベーションの創出に向け、「神奈川県立保健福祉大学発ベンチャー」の制度を創設し、ヘルスイノベーション研究科発のベンチャー企業に称号を付与した。教員を中心とした専門家からの助言指導の機会を設けるなど学生に寄り添った支援を進めてきたことは高く評価できる。

研究面に関して、イノベーション政策研究センターにおいて県が進める未病施策や保健医療データに関する取り組みに対し、大学が有する知見を提供するなどした。今後も、革新的な教育・研究活動を推進することを通じて、地域社会の発展や県民生活の向上に寄与し、その成果を県民へ還元してほしい。

社会貢献については、公開講座・市民大学開催回数が目標値の16回を大きく上回る29回となった。大学の知を広く地域に還元していると評価できる。

(評価結果と判断理由)

令和4年度業務実績報告書及び小項目評価の結果を基に、業務実績の検証を踏まえ総合的に判断し、A評価(中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある)とする。

「教育に関する目標を達成するためとるべき措置」、「学生への支援に関する目標を達成するためとるべき措置」、「研究に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「社会貢献に関する目標を達成するためとるべき措置」の4つの面における取組をそれぞれ検証した。

小項目28項目中3項目で年度計画を大幅に上回る実績・成果を上げているほか、25項

目で年度計画に記載された事項がほぼ100%計画どおり実施されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、A評価が妥当であると判断した。

(小項目評価の主な内容)

・年度計画を大幅に上回る実績・成果を上げている主な事項（S評価）

＜小項目8＞海外大学との連携による取組みの深化と、大学発ベンチャーとの関係継続による相互の学びの深化を期待する。

＜小項目13＞公正な成績評価のため、全科目に明確な評価基準を設定した点を高く評価する。

・年度計画を達成している主な事項（A評価）

＜小項目1＞授業における専門知識やスキルの習得が国家試験の高い合格率につながり、高い就職率の水準を実現している。医療福祉分野での活躍は、大学の評価に直結するため、更なる教育の充実を期待する。

＜小項目24＞神奈川県と連携した未病指標の精緻化等に関する実証事業について高く評価する。また、学術論文の質的評価において改善がみられる。今後も引き続き、学術論文の質的評価が具体化されることを期待する。

＜小項目25＞研究倫理研修の充実を評価する。また、「研究機関別女性採択比率上位30位機関のうち5位」へのランクインは評価できる。研究実施体制整備としてのサバティカル研修制度の今後の活用に期待する。

(2) 大項目2「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する評価

(業務実績の状況)

クロスアポイントメント制度を活用し、他大学や医療機関の第一線で活躍する人材を教員に迎えた。

(評価結果と判断理由)

令和4年度業務実績報告書及び小項目評価の結果を基に、業務実績の検証を踏まえ総合的に判断し、A評価とする。

「運営体制の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」、「人事の適正化に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するためとるべき措置」の3つの面における取組をそれぞれ検証したところ、小項目3項目中3項目で年度計画に記載された事項がほぼ100%計画どおり実施されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、A評価が妥当であると判断した。

(3) 大項目3「財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する評価

(業務実績の状況)

科学研究費助成事業の採択件数を増やすため、科研費添削委託を実施し採択に向けた研修や支援を行った。

また、研究のための資金をクラウドファンディングで調達するなど、法人運営の安定化を図るため、外部資金等の確保に積極的に取り組んでいる。

(評価結果と判断理由)

令和4年度業務実績報告書及び小項目評価の結果を基に、業務実績の検証を踏まえ総合的に判断し、A評価とする。

「自己収入の増加に関する目標を達成するためとるべき措置」、「経費の抑制に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「資産の運用管理に関する目標を達成するためとるべき措置」の3つの面における取組をそれぞれ検証したところ、小項目3項目中3項目で年度計画に記載された事項がほぼ100%計画どおり実施されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、A評価が妥当であると判断した。

(小項目評価の主な内容)

・年度計画を達成している主な事項（A評価）

＜小項目32＞クラウドファンディングの活用や受託研究等における間接費率の設定等、新たな取組みにより自己収入の確保に向けて努力した点は評価できる。

＜小項目33＞カーボン・ニュートラルの議論の進展に期待する。

(4) 大項目4「その他業務運営に関する重要な目標を達成するための措置」に関する評価 (業務実績の状況)

全学科や図書館等でSNSを導入し、積極的な情報発信を行うことにより広報機能の強化を図った。

(評価結果と判断理由)

令和4年度業務実績報告書及び小項目評価の結果を基に、業務実績の検証を踏まえ総合的に判断し、A評価とする。

「施設設備の整備、活用等に関する目標を達成するためとるべき措置」、「安全管理に関する目標を達成するためとるべき措置」、「情報公開等の推進に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「社会的責任に関する目標を達成するためとるべき措置」の4つの面における取組をそれぞれ検証したところ、小項目4項目中4項目で年度計画に記載された事項がほぼ100%計画どおり実施されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、A評価が妥当であると判断した。

(小項目評価の主な内容)

・年度計画を達成している主な事項（A評価）

＜小項目37＞今後もSNSの活用をはじめとした情報発信による広報の強化とあわせて、情報公開の推進に取り組まれることを期待する。

(5) 大項目5「自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する評価 (業務実績の状況)

自己評価専門部会、自己評価・内部質保証審査会を開催し、業務の進捗管理等を行っている。また、一般財団法人大学教育質保証・評価センターにより大学機関別認証評価を受審し、大学評価基準を満たしているとの認定を受けた。

(評価結果と判断理由)

令和4年度業務実績報告書及び小項目評価の結果を基に、業務実績の検証を踏まえ総合的に判断し、A評価とする。

「自己点検及び評価の充実に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「自己点検及び評価の状況に関する情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置」の2つの面における取組をそれぞれ検証したところ、小項目2項目のうち2項目で年度計画に記載された事項がほぼ100%計画どおり実施されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、A評価が妥当であると判断した。

(小項目評価の主な内容)

・年度計画を達成している主な事項（A評価）

<小項目40>自己評価の取組みが分かりやすく説明されている。今後も引き続き、法人運営の透明性が確保されることを期待する。

4 評価委員会の概要

(1) 令和5年度神奈川県立保健福祉大学評価委員会委員

委員長	梅原 出	(国立大学法人横浜国立大学学長)
副委員長	鹿島 勇	(神奈川歯科大学理事長)
委員	鈴木 智子	(公認会計士)
委員	宮川 弘一	(公益社団法人神奈川県医師会副会長)
委員	長野 広敬	(公益社団法人神奈川県看護協会会長)
委員	山田 晃久	(株式会社山田債権回収管理総合事務所代表取締役)

(2) 評価委員会実施状況

- 第1回 令和5年7月11日(火)
 - ・ 委員長及び副委員長の選出
 - ・ 令和4年度業務実績報告書について
 - ・ 財務諸表等・利益処分案について
 - ・ 第一期中期目標期間の終了時検討について
 - ・ 第二期中期目標(素案)について

- 第2回 令和5年8月1日(火)
 - ・ 令和4年度業務実績評価書(案)について
 - ・ 財務諸表、利益処分案に対する意見書(案)について
 - ・ 第一期中期目標期間の終了時検討に対する意見書(案)について
 - ・ 第二期中期目標(素案)に係る意見聴取